

安全データシート

作成: 2011年 2月 9日

改訂: 2022年12月 1日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KM094-02
製品名	: アプライフェルテラ粒剤
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 同上
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分2B
	発がん性	: 区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓) 区分2(肝臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・眼刺激
- ・発がんのおそれ
- ・臓器(呼吸器系)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名/一般名:

3-プロモ-N-[4-クロロ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド/一般名:クロラントラニリプロール

3'-クロロ-4,4'-ジメチル-1,2,3-チアジアゾール-5-カルボキサニリド／一般名:チ
アジニル

成分及び含有量:	クロラントラニリプロール	0.75%
	チアジニル	12.0%
<その他>	結晶質シリカ	30.7%
	非晶質シリカ	9.3%
	樹脂、鋳物質微粉等	

官報公示整理番号:	化審法 (1)-548	結晶質シリカ
	(1)-548	非晶質シリカ
官報公示整理番号:	安衛法 8-(7)-1324	チアジニル

CAS No.:	500008-45-7 /	クロラントラニリプロール
	223580-51-6 /	チアジニル
	14808-60-7 /	結晶質シリカ
	7631-86-9 /	非晶質シリカ

4. 応急措置

吸入した場合:直ちに空気の新鮮な場所へ移し安静に保つ。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:汚染された着衣、靴等を速やかに脱ぎ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常がある場合は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合:直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。異常がある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:水でよく口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水を飲ませ、医師の診断を受ける。意識が無い時には口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火時の注意:消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。

加熱されることによって刺激性又は有害なガスが発生するおそれがあるので、高温により発生するガス、煙、ミストを吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

適切な消火剤:水、粉末、泡沫、炭酸ガス

使ってはならない消火剤:情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉じんやガスを吸い込んだりしないようにする。

環境に対する注意事項：漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出物を密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い：局所排気装置等適切な換気装置の下で取り扱う。適切な保護具を着用し、粉じんやガスを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後はすみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管：容器を密閉し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、安全シャワー設備を設置する。

保護具：状況に応じた適切な保護具を着用する。防じんマスク、保護衣(不浸透性)、ゴム手袋等。作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色細粒
臭い	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: 常温で空気と接触しても自然発火しない。
分解温度	: データなし
pH	: 6.0 - 7.0(20°C, 1% 水懸濁液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし

蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
比重	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 知られていない。
避けるべき条件	: データなし
危険有害な分解生成物	: 知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♀) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg (中毒症状および死亡例無し)
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ > 2,000 mg/kg (中毒症状および死亡例無し)
急性毒性(吸入)	: 製剤のデータなし
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ: 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ: 中等度の刺激性(6日後までに回復)
呼吸器感作性	: 製剤のデータなし
皮膚感作性	: モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 製剤のデータなし
発がん性	: 区分1Aに分類される結晶質シリカを 30.7%含有し、濃度限界以上であることから区分1とした。毒性未知成分量は 68.5%。
生殖毒性	: 製剤のデータなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)に分類される結晶質シリカを 30.7%含有し、濃度限界である 10%以上であることから区分1(呼吸器系)とした。毒性未知成分量は 69.3%。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)に分類される結晶質シリカを 30.7%含有し、区分1の濃度限界以上である。区分1(呼吸器/吸入ばく露)に分類される非晶質シリカを、区分2の濃度限界である 1%以上・10%未満含有する。また区分2(肝臓、腎臓)に分類されるチアジニル原体を、区分2の濃度限界である 10%以上含有する。これらのことから、区分1(呼吸器系、腎臓)、区

分2(肝臓)とした。毒性未知成分量は 47.4%。

誤えん有害性 : 製剤のデータなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): オオミジンコの毒性データにより区分1とした。

水生環境有害性 長期(慢性): 慢性区分に分類される成分含量及びそれらの毒性値から推定し区分2とした。毒性未知成分は 77.3%。

魚類 : コイ LC₅₀ 1000 mg/L (96h)

甲殻類 : オオミジンコ EC₅₀ 0.031 mg/L (48h)

藻類 : 緑藻^{#1} ErC₅₀ 19 mg/L (0-72h)

(#1: *Pseudokirchneriella subcapitata*)

残留性・分解性 : 製剤のデータなし

生体蓄積性 : 製剤のデータなし

土壌中の移動性 : 製剤のデータなし

オゾン層への有害性 : 製剤のデータなし

その他 : 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ秤量し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法	:登録番号 第22786号(日本農薬株)
消防法	:非該当
労働安全衛生法	:施行令第18条の2(表示・通知対象物質):結晶質シリカ(政令番号 165-2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: (2023年4月1日以降) 第一種指定化学物質 611 チアジニル
毒物劇物取締法	:非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。